

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【公表番号】特表 2005-501534 (P2005-501534A)

【公表日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2005-003

【出願番号】特願 2003-510808 (P2003-510808)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/09 (2006.01)**

**A 6 1 P 31/04 (2006.01)**

**C 0 7 K 14/315 (2006.01)**

**C 0 7 K 19/00 (2006.01)**

**C 1 2 N 1/15 (2006.01)**

**C 1 2 N 1/19 (2006.01)**

**C 1 2 N 1/21 (2006.01)**

**C 1 2 P 21/02 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/569 (2006.01)**

**C 1 2 N 5/10 (2006.01)**

**A 6 1 K 38/00 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/09

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/04 1 7 1

C 0 7 K 14/315

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

G 0 1 N 33/569 C

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 15 日 (2005.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

分離されたポリペプチドであって：

(a) 配列番号：2 からなるポリペプチド；

(b) (a) のポリペプチドの少なくとも 36 個の近接するアミノ酸残基を有する抗原性

か又は免疫原性の断片を含むポリペプチド；

(c) (a) 又は (b) のポリペプチドと少なくとも 80 % の同一性を有する抗原性か又は免疫原性の類似物を含むポリペプチド；

(d) (a) 又は (b) のポリペプチドと少なくとも 95 % の同一性を有する抗原性か又は免疫原性の類似物を含むポリペプチド；

(e) (a)、(b)、(c) 及び (d) のいずれか1種のポリペプチドのための結合特異性を有する抗体を生じさせ得るポリペプチド；

(f) (a)、(b)、(c) 及び (d) のいずれか1種のポリペプチドのエピトープ関連部分；

(g) (a)、(b)、(c)、(d)、(e) 及び (f) のいずれか1種のポリペプチドであってN末端メチオニン残基が欠失しているポリペプチド；及び

(h) (a)、(b)、(c)、(d)、(e)、(f) 及び (g) のいずれか1種のポリペプチドであって分泌性のアミノ酸配列が欠失しているポリペプチド

から選ばれるポリペプチドを含むことを特徴とするポリペプチド。

【請求項2】

分離されたポリペプチドであって；

(a) 配列番号：2 からなるポリペプチド；

(b) (a) のポリペプチドと少なくとも 80 % の同一性を有するポリペプチド；

(c) (a) のポリペプチドと少なくとも 95 % の同一性を有するポリペプチド；

(d) (a)、(b) 及び (c) のいずれか1種のポリペプチドのための結合特異性を有する抗体を生じさせ得るポリペプチド；

(e) (a)、(b) 及び (c) のいずれか1種のポリペプチドのエピトープ関連部分；

(f) (a)、(b)、(c)、(d) 及び (e) のいずれか1種のポリペプチドであってN末端メチオニン残基が欠失しているポリペプチド；及び

(g) (a)、(b)、(c)、(d)、(e) 及び (f) のいずれか1種のポリペプチドであって分泌性のアミノ酸配列が欠失しているポリペプチド

から選ばれるポリペプチドを含むことを特徴とするポリペプチド。

【請求項3】

分離されたポリペプチドであって、配列番号2のポリペプチドの少なくとも29個の近接するアミノ酸残基を有する抗原性か又は免疫原性の断片を含むことを特徴とするポリペプチド。

【請求項4】

キメラポリペプチドであって、請求項1、2又は3記載の2種又はそれより多いポリペプチドを含み；ポリペプチドがキメラのポリペプチドを形成するように連結するのを条件とすることを特徴とするキメラポリペプチド。

【請求項5】

分離されたポリヌクレオチドであって；

(a) 配列番号1からなるポリヌクレオチド；

(b) 請求項1又は3記載のポリペプチドをコード化するポリヌクレオチド；及び

(c) (a) 又は (b) のポリヌクレオチドと相補的なポリヌクレオチド

から選ばれるポリヌクレオチドを含むことを特徴とするポリヌクレオチド。

【請求項6】

分離されたポリヌクレオチドであって；

(a) 配列番号1を含むポリヌクレオチド；

(b) 請求項2記載のポリペプチドをコード化するポリヌクレオチド；及び

(c) (a) 又は (b) のポリヌクレオチドと相補的なポリヌクレオチド

から選ばれるポリヌクレオチドを含むことを特徴とするポリヌクレオチド。

【請求項7】

請求項6記載の分離されたポリヌクレオチドであって、

(a) ポリペプチドをコード化するDNA配列又は

(b) ポリペプチドをコード化する DNA 配列の相補物のいずれかに、  
厳密な条件下でハイブリダイズし；

前記ポリペプチドが配列番号 2 を含むことを特徴とするポリヌクレオチド。

【請求項 8】

請求項 5 記載の分離されたポリヌクレオチドであって、

(a) ポリペプチドをコード化する DNA 配列又は

(b) ポリペプチドをコード化する DNA 配列の相補物のいずれかに、  
厳密な条件下でハイブリダイズし；

前記ポリペプチド又はその抗原性か又は免疫原性の断片又は抗原性か又は免疫原性の類似物が、配列番号 2 を含むポリペプチドからの少なくとも 36 個の近接するアミノ酸残基を含むことを特徴とするポリヌクレオチド。

【請求項 9】

請求項 6 記載の分離されたポリヌクレオチドであって、

(a) ポリペプチドをコード化する DNA 配列又は

(b) ポリペプチドをコード化する DNA 配列の相補物のいずれかに、  
厳密な条件下でハイブリダイズし；

前記ポリペプチドが、配列番号 2 を含むポリペプチドからの少なくとも 29 個の近接するアミノ酸残基を含むことを特徴とするポリヌクレオチド。

【請求項 10】

ベクターであって、請求項 5 又は 6 記載のポリヌクレオチドを含み、前記 DNA が発現調節領域に操作可能に連結していることを特徴とするベクター。

【請求項 11】

宿主細胞であって、請求項 10 記載のベクターでトランスフェクトされていることを特徴とする宿主細胞。

【請求項 12】

ポリペプチドの製造方法であって、請求項 11 記載の宿主細胞を前記ポリペプチドの発現に適切な条件下で培養することを含むことを特徴とするポリペプチドの製造方法。

【請求項 13】

薬学組成物であって、請求項 1～3 のいずれか一項記載のポリペプチド又は請求項 4 記載のキメラポリペプチド及び薬学上許容できる担体、希釈剤又は補助剤を含むことを特徴とする薬学組成物。

【請求項 14】

グループ B 連鎖球菌 (GBS) の感染を受け易い宿主における GBS 感染の予防的な処置又は治療的な処置のための使用であって、前記宿主に、請求項 13 記載の組成物の予防的な量又は治療的な量の投与を含むことを特徴とする使用。

【請求項 15】

前記感染が、敗血症、髄膜炎、肺炎、蜂窩織炎、骨髄炎、敗血症性関節炎、心内膜炎又は喉頭蓋を生じさせる請求項 14 記載の使用。

【請求項 16】

前記感染が、軽度の尿路感染から重篤な敗血症まで、及び髄膜炎、骨髄炎、心内膜炎、羊膜炎、子宮内膜炎、創傷感染、蜂窩織炎又は筋膜炎をも含むものをもたらし請求項 14 記載の使用。

【請求項 17】

前記感染が、一次菌血症、皮膚又は軟部組織感染、肺炎、尿性敗血症、心内膜炎、腹膜炎、髄膜炎又は膿症を生じさせる請求項 14 記載の使用。

【請求項 18】

宿主が酪農用家畜の群れの一員である請求項 14 記載の使用。

【請求項 19】

前記感染が乳腺炎を生じさせる請求項 18 記載の使用。

【請求項 20】

G B S 感染を受け易い宿主における G B S 感染の診断のための使用であって、

( a ) 宿主から生物学的試料を得ること；

( b ) 請求項 1 ～ 3 のいずれか一項記載のポリペプチド又は請求項 4 記載のキメラポリペプチドと反応する抗体又はその断片を生物学的試料と共にインキュベートし混合物を形成すること；及び

( c ) 連鎖球菌の存在を示す、混合物中の特異的に結合した抗体又は結合した断片を検出すること

を含むことを特徴とする使用。

【請求項 2 1】

G B S 感染を受け易い宿主における G B S 感染の診断のための使用であって、

( a ) 宿主から生物学的試料を得ること；

( b ) 請求項 1 ～ 3 のいずれか一項記載の 1 種又はそれより多いポリペプチド又は請求項 4 記載のキメラポリペプチドを生物学的試料と共にインキュベートし混合物を形成すること；及び

( c ) 連鎖球菌に特異的な抗体の存在を示す、混合物中の特異的に結合した抗体を検出すること

を含むことを特徴とする使用。

【請求項 2 2】

ポリペプチドの使用であって、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項記載のポリペプチド又は請求項 4 記載のキメラポリペプチドを、連鎖球菌の感染の予防的な処置又は治療的な処置のための薬の製造に用いることを特徴とするポリペプチドの使用。

【請求項 2 3】

ポリペプチドの使用であって、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項記載のポリペプチド又は請求項 4 記載のキメラポリペプチドを、連鎖球菌の感染の予防的な処置又は治療的な処置のために用いることを特徴とするポリペプチドの使用。

【請求項 2 4】

キットであって、連鎖球菌の感染の検出又は診断のための請求項 1 ～ 3 のいずれか一項記載のポリペプチド又は請求項 4 記載のキメラポリペプチドを含むことを特徴とするキット。